「自分に平和をもたらすものは自分自身」

「見えない、聞こえない、話せない」といった三重苦にも関わらずその生涯を精一杯生き切ったヘレンケラー女史の言葉にこんな言葉があります。

「自分に平和をもたらすものは他ならぬ、自分自身なのだ」と、

私たちが、めざす平和は自分の心から始まらねばなりません。私の安らぎが、あなた（＊例えば、身近な親、主人、子ども、隣人、）に伝わり、この私とあなたの心に平和と安らぎの輪が広がる事が世界の平和につながってゆくのです。

自分の心が平和になれば、おのずとその周囲は変わってくるとヘレンケラー女史は言われています。

振り返って、私たちの廻りを見てみますと、特に若い世代の傾向に見られますが、しっかりと自分自身を見つめる事なく、安易に職場が気に入らないといって転職したり、主人や妻が気に入らないといって簡単に離婚する人があります。きっと次は良い結果になるだろうと思っての事だと思いますが、おおよそは最初よりもっと条件が悪くなっていくものです。

「よく思わないのは何よりも自分自身の思い方、受け取り方が問題なのです。自分の心をよくみつめて、相手の立場をやさしい思いやりを持って理解していくと、自然に心が平和になっていきます。外に平和を求めても無理なのです。」

コロナ感染で暗たんたる時代ですが、こんな時だからこそこのヘレンケラー女史の言葉を胸に刻んでお父様、お母様には自分の心をよく見つめ、お子様の幸せを願い１日１日を慎重に大切に過ごしていただきたいと願っています。

理事長